

---

# 艦魂年代史シリーズ キャラクター人気投票結果

黒鉄大和

---

## 注意事項

このPDFファイルは小説サイト「小説家になろう」で掲載中の小説を、「PDF小説ネット」の変換システムが自動的にPDF化したものです。この小説の著作権は作者にあり、作者または「小説家になろう」および「PDF小説ネット」を運営するウメ研究所に無断でこのPDFファイルおよび小説を引用を超える範囲で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止します。小説の紹介や個人用途での印刷および個人用途での保存はご自由にどうぞ。

### 【小説名】

艦魂年代史シリーズ キャラクター人気投票結果

### 【Nコード】

N5704D

### 【作者名】

黒鉄大和

### 【あらすじ】

艦魂年代史シリーズの人気投票の結果が出たので発表させていただきます。皆さんの好きなキャラクターがランクインしているかどうかご確認ください。

## 結果発表 プロローグ

どうも黒鉄大和です。

一ヶ月の間ずっとお待たせしてすみませんでした。

この一ヶ月間ずっと連載小説の設定変更や続編の執筆。さらには新作を書いたり、さらに私情も色々加わって更新が恐ろしいほど遅れました。

僕自身もこんなに遅れるなんて想像を絶していました。

これが終わったらすぐにでも二つの連載小説を更新するつもりです。さて、一ヶ月以上の期間の末、ついに集計が出せるほどの投票があり、やっと結果発表ができます。たくさんのお票ありがとうございました。

集計をした結果、「おお」と思えるようなキャラから、「ええ？」と思ってしまうようなキャラもと、ずいぶんとこちらの予定外のキャラが人気だったりしています。これは僕の世界不足の結果なのでしょう？

まあ、それほど皆さんに愛されているという事で。

一応数もそろっているという事で、今回はなんとかベスト10にし、一人一人出すという方法を取らせていただきました。

僕も多少忘れていた懐かしいキャラからハッキリと覚えている人気キャラまで勢ぞろいです。

今日を含めて金・土・日の三日間でベスト10を発表します。

皆さんの好きなキャラが入っているか、ご確認ください。

## 第10位

第10位

歴戦の女戦士 空母『翔鶴』

さて栄えあるベスト10入りした最初のキャラは翔鶴でした。いやー、翔鶴ですかあ。確かにいいキャラですよ。僕的には瑞鶴の方が好きなんです。翔鶴も好きなので最終作にも登場させました。

今作品には大きく分け翔輝と大和を中心にした物語編。翔鶴と瑞鶴を中心にした機動部隊編。エンタープライズを中心としたアメリカ海軍編の三つに分類しているんですが、翔鶴はその一翼を握る大切なキャラなんです。

頼りない瑞鶴を支えるすばらしい姉である翔鶴は「いつまで待たせるのだ？」

「ちょっと翔鶴うッ！ 人が説明しているのに邪魔しないでよおッ！

3

「うるさい。いつまでも人を待たせておく貴様が悪い」  
段取りつてものを考えてだね。

「私は暇ではないのだ。特に用事がないなら私は帰る」

「ああもうわかったよおッ！ さっさと始めるよおッ！ せっかく考えた予定を初っ端っから挫きやがってッ！

「知らぬ。貴様の戦略的敗北だ」

「くうッ！ 勝者の余裕めッ！

「さっさとしてくれないか？」

わかりました。ええと、今回はベスト10入りした各キャラをこうしてコーナーに出して、色々と質問をしようという企画です。

「そんなくだらない企画の為にわざわざ私を呼んだのか？」

はい。他にも9人ほど。

「いくら私達が退役軍人とはいえ、私達には私達の生活があって暇

ではない。貴様の私用で他人に迷惑を掛けるな」

ちよつと待てえッ！ 僕は作者だよッ！？」

「そんなの知らん」

僕の制作期間一年を返せえッ！

「知らん。どうせこの物語はフィクションであり、実際の人物団体とは一切関係ないのだからな」

う、うるさいなッ！

「所詮は貴様の妄想の世界だからな」

いいのッ！？ そんな事をさらっと言っちゃってえッ！

「事実だからな」

・・・僕が作ったキャラとはいえ、恐ろしい子。

「質問があるなら早く始めろ」

はい・・・

さて、早速ですが翔鶴って翔輝の事が好きなの？

ヒュッ！

ちよつと待ってえッ！ いきなり抜刀するのはなしッ！

「これだけ引ッ張っておいてそんなくだらぬ愚問をしようというのか？」

読者の皆さんはこういう事に興味があるんだよッ！

「なぜ私が読者ごときの為に愚問に答える必要があるのだ？」

それがあなたの役目です。

「くだらん。そもそも私はあんな平和主義者は好かん」

じゃあ、どういう男が好きなの？

「私は男など興味はない」

でも何かあるでしょ？

「しつこい。私は武士だ。男など必要ない」

でも作中ではなんか翔輝に気があるような素振りを見せていたけ

ど？

「そんな事はない」  
うそだあ。

ヒュッ！

だからいきなり抜刀するなァッ！

「くだいッ！ 私は長谷川など何とも思っておらんッ！」  
必死になる所が怪しいな。

「・・・次何か変な事を言ってみろ。貴様の命はないぞ」

落ち着けッ！ 落ち着いてよッ！ そもそも初期設定ではお前も  
翔輝を好きになる設定だったんだぞッ！？

「知らぬ。それは私ではない」

いや、性格はそのままだから君自身だけ

ゴッッ！

「命は大切にしろ」

鞘に入れたままでありがとう。でもすごく頭が痛い。

「生きているだけありがたく思え」

・・・はい。

気を取り直して、もう一つ。翔鶴は連合艦隊最強と紹介されているけど、実際はどのくらい強いのか？

「さあな。私自身よくわからん」

初期設定は剣道五段、銃剣道三段、柔道四段、空手四段、空道初段、拳法初段、居合道五段、合気道五段という破壊的な戦闘能力だったけど。

「ほう、全て段位だったのか」

はい。それくらい強くないとつまらないかなァッって思っ

「だが、作中では私の出番は少なかったな。そのせいで私の戦闘能力は未知数のまま終わった気がするが」

まあ、それはやっぱり瑞鶴の存在が大きいからね。初期設定は機動部隊主人公は翔鶴だったんだけど、やっぱり瑞鶴の方がいいなって事で変更したんだから。

「瑞鶴か、あとで斬る」

やめてください。

では最後に、翔鶴はツンデレですか？

ボコッ！

いきなり何すんだよッ！？

「なぜ貴様はそのような事しか考えられんのだ？ いくら私でもそろそろキレルぞ？」

だからッ！ 読者はこういうのが知りたいんだってばッ！

「知らん。私は貴様のおもちゃではない」

そうだけとお・・・やっぱり読者サービスは必要なんだよ・・・  
「それくらい貴様でなんとかしろ」

無理ッ！

ドゴオンッ！

「くだらん。私は帰る」

・・・と、いう事で、作者がいきなりキャラの尻に敷かれるという失態を犯しましたが、これからもまだまだ続きます。

次は第9位です。

「ちよっと待て」

はい？

「このファイルは何だ？」

ああ、それは君に質問しようと思っていた事だけど……帰るんでしょ？

「ああ帰るさ。貴様を殺してからな」

何でッ！？ 僕は何もしてないよッ！？

「ではこれは何だッ！？」

『翔鶴は全キャラでも上位に入るほどの貧乳』

ああ、それ？ いや、君は貧乳キャラだからそれを題材に

ドガアアアアアアアンツ！

「貴様という奴はッ！」

ま、待ってッ！ 死ぬッ！ マジで死ぬからやめてッ！

「そもそもなぜ私は貧乳キャラなのだッ！」

だ、だって某有名女子高生が『貧乳はステータスだ。希少価値だ』って言ってたから

「らすたを知らん奴はついて行けんぞッ！」

し、知るもんかッ！

「読者サービスはどうしたんだッ！」

ドガアアアアアアアンツ！

……僕、この先もこんな風にキャラクター達にイジメられるんでしょうか？ 先が怖いです……

## 第9位

第9位

アメリカ海軍最強の英雄王 空母『エンタープライズ』

意外キャラ出現ッ！

やっぱり単独の外伝を書いたせいかなかなり強烈な印象を残したようですね。

外伝でこそあんなにかわいいキャラでしたが、本編では日本人の事を「クソジャップッ!」「黄色い猿どもがッ!」「日本人を殺し尽くセッ!」「Kill Japs! Kill Japs! Kill Japs! Kill Japs!」とすさまじい言動をした少女で、ある意味艦魂年代史シリーズ最凶なキャラです。

性格やキャラクターのモデルは特にはありませんが、言動のモデルはウィリアム・ハルゼー提督です。実際彼も「Kill Japs! Kill Japs!」と叫んでいましたから。

キャラ設定は『金剛と榛名を足してさらに凶暴化したキャラ』という中途半端なものですが、実際はもう榛名を越えた凶暴性を持っています。まあ、その分乙女としての一面もありますが。

戦い方もハルゼー提督と同じ見敵必戦主義。敵を見つけたら例えそれが輸送船一隻でも徹底的に叩くタイプです。

一つの事に集中するとまわりが見えなくなる事はありませんが、仲間想いなので彼女を慕う者は大勢います。

そんな彼女も戦後はずいぶんとかわいくなっちゃいましたね。

大概乱暴な女の子がクーゴみたいな優しい人に恋するのは黄金のパターンですよ。

さて、そんなエンタープライズに投票ありがとうございます。意外でしたけど僕も好きなので嬉しいです。

「勝手な事を言うなクソジャップ」

「・・・ねえ、君達って段取りつてものを考えないの？」

「貴様の駄文が長すぎんだよ。これだから黄色い猿は」

「いまだにそう呼ぶんだね。」

「当たり前だ。黄色い猿を黄色い猿と呼んで何が悪い」

あのさ、今じゃ日本はアメリカの同盟国だよ？ その偏見はさすがにもうやめた方がいいってば。

「日本がアメリカの同盟国だと？ ふん、思い上がるな黄色い猿。」

貴様らは所詮敵国だって事知らねえのか？」

はあ？ 何言ってるの？ 日本はもうアメリカの敵なんかじゃないぞ。

「敵国だ。貴様らは未来永劫世界の敵なんだよ」

あのさ、そんな発言国連（国際連合）が許さないよ？

「ふん、愚か者。国連は貴様ら日本をを敵国扱いしているんだぞ？ 思い上がりも甚だしい。私達アメリカはいつでも国連の許可なく日本を滅ぼせるのだぞ？」

はあ？ さつきから君何言ってるの？

「無知とは恐ろしいな。これを見てもそんな態度が取れるか？」

国連憲章第53条（要約）

『敵国（第二次世界大戦において連合国に敵対した国 日本・ドイツ・イタリア・ブルガリア・ハンガリー・ルーマニア・フィンランドの七ヶ国）に対しては、各国は国連の決議なしに武力行使しても良い』

何なのさこの決まりいいいいいいいいッ！？

「事実だ。国連ではいまだに日本は敵国扱いでしかないんだよ」

うそだッ！ うそに決まってるッ！

「聞き分けのない奴だな。そもそも国際連合は第二次世界大戦で貴

様らが戦った連合国が形を変えただけの組織なんだよ」

「そうなのッ!？」

「和英辞書で調べてみな。連合国 (United Nations) と国際連合 (United Nations) はまったく同じ英語名だからな」

「そ、そんな・・・」

「理由は知らねえけど、当時の外務省が狂ってたのか別の訳語付けちまったんだ。配慮のつもりなんだろうけど、そのせいでジャップどもは自分達と敵対した勢力と国連をまったく別のものって思い込んでるんだ。笑えるだろ? 21世紀になった今でも第53条はきつちりと残ってるんだ」

「うそだあッ! 国連が敵だなんてえッ!

「ふん。貴様は不思議に思った事はないのか? 国連予算の約20パーセントという一番金を出している日本が常任理事国に入っていないのはなぜか。それは日本が敵国だからなんだよ。もちろんドイツもイタリアも入ってない」

「・・・一体、何を信じたらいいんだろ?」

「本当にジャップはアホだな。国内で政府予算の削減をやるよりも先に国連を脱退した方が得策だと思うがな。まあ、そんな事をすれば1933年の国際連盟脱退の時にように世界中に危機感が浸透するだろうがな」

「でも、その方がいいね。日本にとっては。」

「まあ、国連も予算の20パーセントを失う訳にはいかないと血眼になって脱退を阻止するだろうがな」

「私利私欲?」

「まあな。そうしたら日本も常任理事国になれるかもしれないぞ」

「・・・なんか、もうやる気が失せた。」

「ふん、ならやめるか?」

「いや、それはまずいから、一応質問するね?」

「早くしろ」

エンタープライズはツンデレなの？

「弾倉に弾は入ってたかな？」

「ちよつと待ってッ！ 何でリボルバーの残弾を確認してるのッ！？」

「貴様の頭は腐ってるのか？」

「だ、だって実際にそういう質問を受けたから・・・」

「これだからジャップは」

まあ、書いているうちにできたキャラだから初期設定なんてないんだけど、たぶんそんな部類に入ると思うけど。

「こんなくだらない質問は却下。さっさと次行け」

次の質問は読者からの質問だけど、『最終作で大和達が人間になつたけど、エンターもなりましたか？』・・・だって。

「バカ。ちゃんと作品を読め。『エンタープライズ』が解体されたのは1960年。ヤマト達が人間になつたのは1954年。つまり人間にはなっていない」

でも後になつたんじゃないの？

「知らん。そんな細かい事は貴様が考えろ」

こつという時ばかり作者扱いするなよな。

「終わったか？」

「うん。一応・・・」

「なら帰っていいか？ 私にも用があるんだよ」

「・・・ふーん。」

「何だ？ そのムカつく笑顔は？」

「どうせクーゴとデートだろ？」

「なあッ！？ ち、違っッ！ 何でそこでクーゴの名前が出て来るんだよッ！？」

わかりやすいなあ。デートには何着てくの？ どこ行くの？

「だから違つって言ってるだろうがッ！」

どうせ遊園地だろ？ 星空の下で観覧車に乗って、その天辺でキスでもすんのか？

「死ねええええええええええッ！」

ガアアアアアアアアアアッ！

・・・こんな調子じゃ・・・体が持たないよお・・・

## 第8位

### 第8位

艦魂年代史シリーズ最強のお姉さんキャラ 戦艦『長門』

あれ？ 長門がここですか？

確かに翔輝を好きという恋愛キャラではありませんでしたが、結構出番が多かったキャラなのでもう少し上位だと思っただんですが・

えええいッ！ くよくよしていても先はないッ！ ドンドン進めるぞッ！

えーと、長門はもう典型的なお姉さんキャラです。

お姉さんキャラは他にも比叡と扶桑がいますが、どちらも出番を長門に吸収されていて少なく、そのせいか長門の出番が多いんです。長門は普段は陽気で明るくみんなのお姉さんのようなキャラで皆に慕われていますが、一方でバカ過ぎる発言をしたり恋愛話やエロトークが好きな一面もあります。

しかし、有事の際になると連合艦隊旗艦経験者としての実力を発揮し、抜群の指揮ぶりをする立派な軍人としての一面や、鬼の金剛と対等に言い合えるという強い一面もあります。

そんな長門に投票、本当にありがとうございます。

さて、ここで長門の登場ですッ！ どうぞッ！

「あ、こんにちはあ」

こんにちは。やっとまともに出てくれる人が現れたよお。

「へえ、そうなんだ」

はい。この前の翔鶴とエンターはもう身勝手に手にも負えなかったよ。

「あらあ、どつちも強烈なキャラね」

それに比べたら長門はいいね。さすが年長者。

「経験豊富なお姉さんはちょっとの事じゃ動じないのよね」

さすがです。ちゃんと台本を読んでもくれたんですね。

「へ？ 台本・・・？」

・・・長門？ もしかして、台本を読んでないなんてオチはないよね？

「・・・」

・・・

「えへっ」

誤魔化すなあああああああッ！

「まあまあそう怒らないで」

おかしいでしょッ！？ ちゃんと台本渡したでしょッ！？ 読んでねって言ったでしょッ！？

「でも、私活字はあんまり好きじゃないの」

元連合艦隊旗艦でしょッ！？

「なりたくてなった訳じゃないし、もうずっと前の事だから忘れちゃったわよ」

結局この人もやつかいな奴だったのかああああああッ！

「む、失礼ね。私くらいしっかりしていると台本なんかなくてもアドリブで何でもやつちゃうわよ」

・・・しっかりしている人は台本を読まないなんて事はまずしない。

「ふふふ、何でもこの経験豊かな優しいお姉さん聞きなさい」

逃げたな。

「戦略的に後退しただけよ」

それを世間一般的には《逃げる》って言うんだよ。

「もう、細かいんだからあ」

長門が大雑把過ぎるんだよ。

「ほらほら、さっさと進めなさい」

・・・まだ言いたい事はたくさんあるけど、これ以上長引かせる訳にはいかないからね。先に進むよ。

じゃあまずは、長門って恋愛話好きだけど、恋をした事はあるの？

「あらあら、もうおませさんなんだからあ

いや、意味不明。

「私にだって恋の一つや二つはあるわよあ

本当ですかッ!？」

「何でそんなに驚くのよ」

いや、長門って耳年増だとばかり・・・

「作者君」

はい？

「限りある命だからこそ、人間は必死に生きられるの。その尊い命を無駄にするのは良くないわ。言うでしょ？ 口は災いの元ってね」

長門。目がすごく怖い・・・

「まあとにかく、私は恋愛は経験豊かなのよ。何か恋の相談があったら話してみて。アドバイスしてあげるから」

次に行きましょう。

「・・・命が惜しくないかしら」

惜しいです。

次の質問だけど、長門は翔輝の事をどう思ってるの？ 弟みたいな感じなの？

「うーんと、そうだねえ。弟みたいな感じかな」

やっぱり。恋愛感情のようなものはないの？

「うーん、そんなのはいわねえ。でも私は長谷川君が大好きよあ。もちろん陸奥も好き。だから二人がくっ付くのが一番嬉しかったけどあ、陸奥との仲を無理に押しはしなかったでしょ？ 私は二人がそれぞれの幸せを掴んでほしいのよ」

優しいね、長門は。そんな優しさを受けている翔輝はある意味幸

せなのかもね。

「うふふ、これがお姉さんパワーなのよね」  
なるほど。

「じゃあ、私は帰るね」

はい。お疲れ様でした。

「今度一緒にお食事しましょうね」

あ、はい。

こんな和やかな雰囲気が終わってくれると嬉しいんだけど、次は誰なんだろ。お願いだから優しい人でありますように。

## 第7位

### 第7位

翔輝を愛し、支え、太平洋に散った少女 戦艦『陸奥』

大和、陸奥、伊勢の三人はキャラが被っているので大和はともかく陸奥と伊勢は同じような扱いかと思いきや、陸奥の方が人気あるんですね（伊勢は15位でした）。

陸奥は大和とほぼ同じ時期に翔輝に恋した翔輝派の重鎮です。

太平洋戦争の初期から中期に掛けて翔輝達といつも一緒にいた陸奥ですが、本当は沈没なんかさせずもつと長生きしてほしいかったです。史実が恨めしい。

史実といえば『陸奥』は本当は瀬戸内海に事故沈没してしまったのですが、陸奥はメインキャラだったので殉職は嫌だったので敵潜水魚雷で沈没しましたが、それに関して不評をいただいております。本当にすみません。

この陸奥ですが、最終作で翔輝を諦めて昔の彼に心を傾かせて翔輝争奪戦争から去りましたが、これにも不評がかなり多いんです。

『もつと陸奥を出してほしかった』

『陸奥が一番好きだったのに残念』

『簡単に脱落したのが嫌』

等々色々な苦情を受けております。

本当に申し訳ありません。

本当に伊勢と陸奥は同程度に考えていたのでこれ以上被らせない為に離脱させたんですが、これなら伊勢を離脱させれば良かったと今さらながら後悔しています。

今考えれば陸奥は伊勢よりもずっと翔輝に近いキャラだったような気がします。

あと訂正を申し上げます。

『陸奥』は第一次世界大戦中に敵潜魚雷を受け、陸奥の想い人はその復旧に向かい亡くなったという設定になっていますが、まず『陸奥』が完成したのは第一次世界大戦後です。

指摘されて初めて自分の致命的なミスに気が付きました。

もう訂正しようがないので、これは温かく見詰めてください。お願いします。

さて、もう恒例のキャラクターインタビュー。

陸奥の登場です。どうぞッ！

「お久しぶりです」

久しぶり。ごめんね、出番が少なくて。

「いえ、そんな事ありませんよ。たくさん出していただき本当に感謝しています」

ああ、やっぱり陸奥は優しいし安心するよ。

「そうですね？ 嬉しいです」

だってこの前は翔鶴にエンター！。その後は長門だよ？ 初っ端からキャラクターが強過ぎるんだよ。

「そうですね。それは苦労したでしょうね。お疲れ様です」

いやいや、これでも作者だからね。皆さんの為がんばるのが僕の役目さ。

「立派ですね」

そんな事ないよ。でもありがとう。

「お礼を言われるような事をしてませんよ。でも、元気になられたのなら嬉しいです。さあ、その元気がなくならないうちに早く始めましょう」

はいッ！

ええっと、陸奥の想い人は誰なの？

「それは作者であるあなたの方が知ってるかと」

いやあ、実は君の初恋の相手のキャラ設定なんか全然ないんだよね。

「そ、それはひど過ぎますよおツ！ あんなにいい人なのに！」

ごめんね。僕は結構その時の気分で作品を書くから、君の初恋の相手もその場の思い付きで書いたんだ。だから設定なんかないよ。

「そ、そんなあ・・・」

ま、まああくまで基本的な設定はあつたけど。

「どんなのですか？」

とりあえず艦魂年代史シリーズの主人公型のキャラは翔輝をベースに作ってるけど、君の初恋の相手は翔輝よりは大人びた設定にしてたんだ。

「その言い方だと長谷川さんに失礼ですよ」

まあそれは置いといて、本当はその話も短編で書こうかと思っただけけど、他の作品の事もあつて製作中止になったんだ。

「それは残念です」

まあ、気が向いたらまた艦魂年代史シリーズの外伝でその話を書くかね。

「よろしくお願いします」

でも、一部の方からは陸奥の初恋の相手は第二期シリーズの主人公の鷺じゃないかという質問がいくつもあるんだ。

「そ、そうなんですかッ!？」

いや、それはないよ。第一次世界大戦は日露戦争の10年以上後の話。鷺の年齢を考えれば30代くらいになっちゃうからね。作中でもちゃんと《青年》って書いてあったでしょ？

「そ、そうですね。でも鶴鷺さんでも私はいいなあ」

やめときなつて。

「え？」

翔輝に大和や武蔵、瑠璃に隼鷹っていった強力なキャラが付いていたように、鷺にも君の大先輩である三笠や敷島、巖島とかが付い

てるからね 死ぬよ？

「リアル過ぎて怖いです」

陸奥は今でも翔輝の事は好き？

「はい。以前のような恋愛感情はもうありませんけど、今でも良き友と思っています」

そっか、だったら翔輝は誰とくっ付くと思う？

「そうですね、エピローグを拝見した所では大和ちゃんの可能性が一番ですけど、武蔵ちゃんや隼鷹ちゃんも強力な恋敵ライバルですからね。わかりません」

ま、誰が翔輝とくっ付いても、苦勞するのは翔輝だけだね。  
「そうですね」

「では、私はこれで帰りますね。まだまだこのコーナーは続くんですか？」

うん。今7位だからあと6人ほど。

「がんばってくださいね」  
はい。ありがとうございました。

本当に陸奥はいい子です。

あんな感じの子が続いてくれれば嬉しいんですけど、さすがにベスト10入りしそうなキャラは強烈そうですね、こんな平和的ムードもしばらくおあずけですね。

## 第6位

第6位

史上最強の戦姫 戦艦『榛名』

第6位は全艦魂キャラで唯一の男勝りキャラである榛名でした。本編では仲間達の姉貴として皆を率い、優柔不断な性格をしている翔輝を常に乱暴ながら引っ張ったり後押ししたりして奮闘した頼もしいキャラです。

しかしその乱暴な性格ゆえに翔輝との関係があまり進展しないのが難点でした。

物語初期は基本的に金剛と共に行動する事が多かったのですが、だんだんと独立した動きも多くなり、物語最後では金剛のいない日本海軍の最古参として皆を率っていました。

基本設定は典型的な男勝りキャラで構成されていますが、さらに翔鶴や金剛ほどではないにしても強力な戦闘能力を保有しています。基本的に抜けている所が多い翔輝にツツコミを入れる数少ないキャラでもあり、物語では数少ないツツコミ役として活躍もしていました。

「何勝手な事をグダグダ言っただよ」

「・・・やっぱり、榛名相手じゃ普通に進む事もできないんだね。」

「うるせえ。テメエは俺達の為に黙って物語を書いてればいいんだよ」

「ひどいッ！ これでも僕は作者なのにいッ！」

「知るか。テメエは俺達の奴隷でしかねえんだよ」

「なんか僕って翔輝より扱いひどくないッ!？」

「当たり前だ。あいつはバカだけど信念を持って戦乱の世を生き抜いたんだ。それに比べてテメエはバカでしかない上に学校の成績は

クソ悪い。しかも平和ボケして腐った日本でのうのうと生きてるんだぞ？ そんなの比べる必要もねえだろ」

榛名。ひどいよお・・・

「キモイツ！ 涙目になるんじゃないやねえッ！」

僕が設定しておいて何だけど、君はひど過ぎる。

「うるせえ」

もう今にもやる気が削がれそうだけど、とりあえず質問を・・・

まず最初に榛名は翔輝の事をどう思ってるの？

「女々しい男」

そうバツサリと言うの？

「言っぜ。俺にとつてあいつはストレスを発生させるだけの無為な存在だ。優柔不断でいつも決定力がなくて、楽観的に物事を考えていつもニヤニヤしてる。あの笑顔にはいつもイライラさせられる。特にあの究極のシスコンつぶりは本気でムカつくぜ。まったく、何であんな奴が俺達艦魂の中心にいるか不思議なんだけど」

そりやまあ、一応主人公だし。

「そういやあいつは主人公だったな」

忘れるなよ。翔輝中心に物語は進行してただろ？

「そうか？ 結構大和達を中心に動いてた気もするけど」

まあ、大和も一応メインヒロインだからね。それはそれで物語は進行するけど。やっぱり基本は翔輝中心だよ。じゃなきゃ陸の上での瑠璃とのやり取りもなかったら？

「まあ、そうかもしんねえけどよ」

とりあえず質問を戻すけど、榛名は本当に翔輝をそんなふうにか見てないの？

「それ以外にあいつの評価があんのか？」

かっこいいとか優しいとか。

「んな事思った事もねえよ」

・・・榛名はツンデレっつと。

ガッツ！

な、何すんだよおツ！？

「うるせえツ！ 何テメエいい加減な事言っただよおツ！」

いい加減じゃないしいきなり殴る事ないじゃないかツ！

「黙ってるドアホツ！ テメエは口を開けばバカバカしくてイライラするような事ばかり言いやがってツ！ 永遠に黙ってるツ！」

ひどいツ！ ひど過ぎるよおツ！

「うるせえツ！ さっさと先に進みやがれツ！」

わかったよおツ！

えつと、榛名の弱点は何？

「んなもんねえよ」

でもほら、物語にちょこつと出たけど、お前って幽霊、オカルト、ホラーとか典型的な男勝りキャラの弱点の女の子らしいものが怖いでしょ？

「べ、別に怖くねえよ」

なぜ視線を逸らすの？

「うるせえツ！ とにかく俺には弱点はねえツ！ それで終わりだツ！」

ならこれ観る？ 『稲川 二の怖い話』

「み、観ねえよ」

声が震えてるよ？

「うるせえツ！」

ボゴンッ！

「いつてーッ！ 何すんだよッ！  
「うるせえっつってんだよッ！ もう俺は帰るからなッ！ 付き合  
っていられるかッ！」

・・・本当に帰りやがった。

まったく、陸奥の次に榛名は辛すぎる。

さあ気を取り直して、次からははついにベスト5です。

栄光のベスト5入りしたのは一体誰か、お先をどうぞ。

頼みますから、本当に次は優しいキャラでお願いします。

## 第5位

第5位

史上最強のお嬢様幼なじみ 霞 瑠璃

おお、瑠璃結構善戦していますね。

あまりにも強烈過ぎるキャラだからベスト10入りするのは難しいなあと思っていたんですが、皆さんに愛されとても嬉しいです。

翔輝とは小さい頃からの付き合いという事もあり、物語初期に登場した時は他のキャラを圧倒する実力をフルに発揮し、事実上大和達翔輝派最大の恋敵ライバルでした。

最強のお嬢様キャラとして金銭感覚が壊滅的に一般人とずれていきます。そのせいか翔輝や自分に対して湯水のようにお金を使います。

外伝である『星になってあなたを見守って』では霞家親衛隊という私軍を組織し、さらには陸軍の主力戦車である九七式中戦車チハを保有していたり。もちろん金の力です。

そんな破壊的に大金持ちキャラである瑠璃と大和達の戦いは大体瑠璃対翔輝派の戦いになりますが、大勢の翔輝派に単独で対抗できる実力を持ち、それがまた大和達との翔輝の奪い合いに拍車を掛けていました。

そんな艦魂年代史シリーズ唯一の人間ヒロイン（翔香抜き）である瑠璃が5位というのはとても嬉しいです。投票ありがとうございます。ありがとうございました。

さて、そんな瑠璃も今日は呼んでいます。どうぞッ！

「ごきげんよう作者様。今日はお招きいただきありがとうございます。ごきげんます」

あ、どうも。元気だった？

「はいですわ。作者様もお元気そうだなによりですわ。あ、あとこ

れ、つまらないものですが」

あ、ありがとう。気にしなくてもいいのに。

「いつもお世話になっていられるお礼ですわ」

中身は何なの？

「本当に粗品ですわ。高級老舗に特注した和菓子ですわ」

・・・ちなみに、これっていくらなの？

「雀の涙で、ほんの五万円ほどですわ」

ねえ、霞家つてもうないんでしょ？ 何でそんなにポンポンお金  
が使えるの？

「霞家が滅んでも、私にはお父様譲りの経営能力があります。今で  
は株を自由自在に売買して資金を獲得していますわ」

株って・・・

「それくらい稼ぐのは訳ないですわ」

そっか、がんばってるんだね。

「お褒めいただき光栄です」

でも瑠璃で良かったあ。さっきは榛名だったからすごく疲れたけ  
ど、瑠璃なら疲れなくてすむよ。

「そうでしたの・・・あの下品で野蛮な方と。それはお疲れでしょ  
うに。それなのに忠実に読者の皆様の事を優先されるなんて、小説  
家の鑑ですわ」

あははは、瑠璃はお世辞がうまいねえ。

「そんな、お世辞だなんて。私は本心からそう思っているだけです  
わ」

ははは、ありがとう。じゃあ色々質問するけど、いい？

「はいですわ。ここで他のアホキャラとは格の違いを見せ付けてや  
るですわ」

まずは瑠璃の家である霞家の財力ってどれくらいなの？

「わかりませんわ」

わからないって・・・マジで？

「ええ、何せ霞家はお父様が総指揮していたので私はわからないんです。むしろそれは作者であるあなたの方がわかるのでは？」

そんなの僕にだってわかんないよ。

元々初期設定では重工業、軽工業、農作、軍事、株など多くの分野に手を伸ばしている霞家の財力は三井、三菱、住友財閥にも引けを取らない大財閥という設定だよ。その総資産は現在の金額で数十兆円。たぶん霞家だけで軍隊がつくれるよ。

「そうなんですか？」

まあ、あくまで初期設定だからかなり無理な設定だけど、それくらいの財力と違ってよ。

「さすがお父様ですわ。経営の神様と呼ばれただけの事はありますわ」

じゃあ、次の質問していい？

「ドンと来いですわ」

瑠璃は翔輝を諦めて他の男の人を好きになる可能性はないの？

「ありえませんか」

きっぱり言ったなあ。

「作者様。私がどれだけ翔輝様をお慕い申し上げているか、あなたならわかっているのでしょうか？」

うん。まあね・・・

「だったらその可能性がまったくないって事くらいわかるでしょう？」

確かに、設定段階でも瑠璃は絶対に翔輝を諦めないようなキャラだったもんなあ。

「その通りですわ。翔輝様を諦めるなんてこの私に限って絶対にありませんわ。なんとしても翔輝様をあの子狐どもの毒牙から解放しなくてははいけませんわ。それが私の使命ですもの」

毒牙つて・・・大和達はそんなにひどいキャラじゃないよ？ 僕  
が作ったんだし。

「甘い。甘いですわッ！ 最近東京の繁華街に出没すると言われる  
狩つても狩つても焼け石に水な数で住み着いているドブネズミのこ  
とくあの方達はしつこいものですもの」

相変わらず意味不明かつひどい例えだね。

「ドブネズミが嫌でしたら漁師を悩ませるエチゼンクラゲとか食糧  
不足で山から下りてくる熊。他にもシジミの養殖場を襲うエイでも  
構いませんですわ」

どれも厄介な厄災生物だな。

「あの方達ならこの程度で十分ですわ」

さすが瑠璃。この物語唯一の毒舌キャラはスッキリと言ってくれ  
るね。

「作者様に喜ばれて光栄ですわ」

「あの、作者様。そろそろ私は帰りますわ。今日は翔輝様とデート  
です。ですから早めに帰っておめかしして、翔輝様をメロメロに  
するんです。ですのでここで」

あ、うん。ごめんね僕の勝手に呼び出しちゃって。

「気にしないでほしいですわ。これもメインヒロインである私の役  
目。作者様にはこれでも足りないくらい之恩を受けておりますわ。

これからも末永いお付き合いをよろしくお願いしたいですわ」

うん。よろしくね。

「では、ごきげんよう」

いやー、さすが瑠璃です。

いつでも余裕を持った態度をしている所がすごいです。

最初は瑠璃相手だから結構苦戦するかと思っていましたけど、や  
っぱりある意味一番大人びたキャラだね彼女は。

瑠璃には幸せになってほしいですね。

艦魂年代史シリーズ キャラクター人気投票結果

では次は第4位です。

一体だれになるのか楽しみですね。

次もこれくらい進行が楽しそうですね。



るのを嫌っている。しかし一方で大艦巨砲主義の日本海軍社会の中で戦艦よりも航空機の方が優位という考えを持っている数少ない航空機主義の戦艦艦魂でした。

そんな大和は翔輝の事を心の底から想っていて、物語の最後の方では二人は両想いになりましたね。

さあ、第4位ながらも善戦した大和にも登場してもらいます。どうぞッ！

「な、なんか出づらいですね」

「ご、ごめんね。僕の力量不足のせいで4位になっちゃって。

「い、いえ。私はベスト10入りしただけでも十分ですよ」

健気だねえ。

「そんな事ありませんよ。作者さんもがんばってくれたんですから」

「うーん、やっぱり陸奥と同じで平和的なムードになるねえ。」

「聞きましたよ。もうすでに翔鶴さん、エンタープライズさん、長門さん、陸奥さん、榛名さん、瑠璃さんを相手にしてるんですよ？ 大丈夫ですか？」

「うーん・・・正直翔鶴とエンター、榛名の相手は体が悲鳴を上げたし、長門さんは別の意味で疲れたよ。それに比べたら大和や陸奥、瑠璃は楽だよ。」

「へ？ あの、私と陸奥さんはわかりますけど、瑠璃さんは困難なんじゃないかったですか？」

「いや、瑠璃は礼儀正しくて話しやすかったけど。」

「えええええッ！？ 瑠璃さんがですかぁッ！？」

「お前、瑠璃を誤解してないか？」

「瑠璃さんと普通に話すのは至難の技だと思っんですが」  
「そんな事ないと思うけど・・・まあ、あいつは敵視している相手には容赦ないからな、お前と平和的に話すのはちょっと難しいかも。問題は山積みですね」

まあ、とりあえず質問していい？ あんまり長く延長すると後が困るから。

「わかりました」

大和は翔輝の事をどう評価してるの？

「そりやあもうすばらしい方だと思いますよ」

本当に？

「本当ですよ」

本当の本当に？

「・・・」

なんで黙るの？

「そ、そりや不満だってあるにはありますけど・・・」

例えば何？

「優しい性格だから恋敵ライバルが多いんです」

そりや仕方ないよ。君もそこが好きなんでしょ？

「ま、まあそうですね、あと翔輝さんって乙女心や恋心が全然わからないんです」

まあ翔輝の設定は史上最強の鈍感男だしね。そこは我慢してもらうしかないよ。

「でも翔輝さんも大人になったおかげかそういう気持ちも察してくれるようになったんですけど・・・」

良かったじゃない。

「でも、そのせいでさらにややこしい事になっちゃって・・・」  
「どういう事？」

「いや、翔輝さんは優しいので誰も傷つけたくないらしく、私や武蔵、伊勢さん、隼鷹達の間でおろおろしてるんです」

あいつの性格ならありえるなあ。

「しかも最近では翔鶴さんに山城さんも怪しくて・・・」

あー、そういえば初期設定ではその二人も翔輝を好きになる設定

だったな。

「結局全部あなたの責任じゃないですかッ！」

ちよつと待て大和ッ！ 蹴るなッ！ まだ翔鶴や榛名のダメージが残って へぶッ！

「まったく、もう少し私達の事も考えて作品は書いてください」

いやー、その方が読者が喜ぶから・・・

「最低ですッ！」

だから蹴るなァッ！

さて、次の質問だけど、大和は武蔵の事をどう思ってるの？

「・・・あの、作者さん」

何？

「何で私の妹である戦艦『武蔵』の艦魂をあんな設定にしたんですか？」

そりゃそういうキャラを書きたいと思ったから。

「あんな妹最悪じゃないですかッ！」

そ、そっかな？ 計画段階ではお前の性格は武蔵みたいだったんだけど。

「困りますよッ！ あんな嫌われキャラになりたくないですよッ！ ひどい言いようだな。」

「噂によると新シリーズである『艦魂年代史2 恋する戦姫は艦隊決戦主義』は日露戦争を舞台にしているそうですが、そのメインヒロインである三笠さんが武蔵と同じ設定のキャラだそうですね？」

いや、武蔵よりさらに厄介なキャラだね。

「三笠さんにはお姉さんがいるんですよね？ 私同情します」

三笠の姉妹は金剛と同じで四姉妹な上、三笠は四女だから姉が敷島に朝日、初瀬の三人がいるけど」

「苦労しているそうですね」

まあ、苦労はしてる。三笠は武蔵と同じで常に無表情をしていて

口数が少なく自己中心的な考え方の上、常に理論武装をしてまわりの人の意見をまったく聞かずに主人公の鷲を自分一人で独占したがるキャラだけだ。

「完全に武蔵と同じキャラじゃないですかッ！」

いや、武蔵よりも独占欲は上だし、二人つきりになると感情を常に表に出して鷲に甘えるというクーデレの要素も入ってる。

「より厄介ですね」

本当に厄介で、武蔵よりも使いづらいし、敷島達の苦勞も大きいし。

「まだ武蔵の方がマシなんですか？」

うん、まあ・・・そんなキャラだから鷲の負担も大きいけどね。

「あの、翔輝さんと鶴鷲少尉は似てる気がするんですけど」

そりゃ基本的に同じだから似てるよ。というかほぼ同じ。

「そうなんですか？」

うん、まあ設定では翔輝よりはしっかりしてるし、翔輝は妹の翔香を開戦前に失って心に傷があるタイプだけど、鷲は翔輝と同じで両親はいないけど兄妹はいるんだ。

「幼なじみもいるんですか？」

うん。瑠璃ほどじゃないけどお嬢様設定にしてる。

「何で幼なじみがいつもお嬢様設定なんですか？」

じゃないと恋敵ライバルが艦魂達と対決できないじゃん。

「なるほど」

まあ、セカンドシリーズは置いといて、結局大和は武蔵をどう思ってるさ。

「今の話を聞いてると、武蔵が普通の妹に思えてくるのが不思議です」

三笠と比べるなって。あいつは格が違うんだからさ。

次に『大和』は世界最大最強の戦艦だけど、それについて君はどう思ってるの？

「そりゃ誇りは持ってますよ」

へえ、例えば？

「私の自慢は世界最大最強の大砲である三連装四五口径四六cm砲ですね。当時私と真正面から戦える戦艦は世界中どこにもいませんでしたからね。私と武蔵がタックを組めば、どんな敵も恐れるに足らずです。ただし空母はダメです。あれは戦艦が戦う相手ではありません。空母と戦えるのは同じ空母だけです」

そっかな？『金剛』と『榛名』は護衛空母一隻を撃沈してるけど。あれは例外です。そもそも金剛型戦艦全四隻は太平洋戦争で一番活躍しててずるいです」

仕方ないよ。君や『武蔵』、『長門』と『陸奥』は特に失いたくはなかつたんだから。過保護になるのは当然さ。

「まあそうですね。あ、でも私だってレイテ沖海戦で初弾を敵空母に命中させるという神業を炸裂させてますよ」

あー、それは誤認だ。

「え？ そ、そんなんですか？」

当たり前だろ？ レーダーを使っても難しいのに目視射撃を重視する日本海軍の戦艦が初弾を敵艦に命中させるなんて不可能だよ。で、でもこの海戦では私達戦艦部隊は初めて電探射撃レーダーをしましたけど」

日本のレーダー技術はアメリカに比べて劣ってるんだよ？ 有名な話だとレーダーに使う国産の真空管には空気が入ってたりしたんだ。どれだけ日本の工業力が低いかかわかるでしょ？

「空気が入った真空管って、真空管じゃないじゃないですか」

まあね。でもそんな部品を使ったレーダーではアメリカに比べると圧倒的に命中率は低く、目視よりはマシってぐらいだったんだ。そんなので初弾を命中させるなんて無理だろ？

「う、そ、それはそうですが・・・」

それに命中報告では『軽巡らしきもの』って言ってたし、中には

僚艦・重巡洋艦『鳥海』を誤射した可能性もあるんだ。

「そ、そうなんですかッ!？」

まあ詳しくはわからないよ。それだけ混戦してたんだから。レーダーは確かにいいけど、そうした味方撃ちも起きちゃうんだよね。

ほら、レイテ沖海戦の一つであるスリガオ海峡海戦は知ってるだろ？

「はい。確か扶桑さんと山城さんが壮絶な戦死を遂げた海戦ですよね？」

そう。その海戦で米戦艦部隊がレーダーに頼りまくって日本艦隊が去った後もレーダーに映る艦影を撃ちまくってたら同士討ちが起きたって事実もあるからね。

「レーダーも万能ではないんですね」

でも、大和だつて天一号作戦の時はレーダーで敵機の襲来を探知したから対空戦闘の用意がすばやくできたんだろ？

「そうですね。でも、最後までいいは艦隊決戦をしたかったですね」

まあ、偽装針路さえ取らなければ米戦艦部隊との艦隊決戦が実現できたんだけどね。

「残念ですね。せめて最後までいい大和型戦艦が世界最強である事を見せ付けたかったですね」

言っても仕方ないさ。終わった事なんだしね。

「そうですね」

じゃあ最後に、今でも大和は翔輝の事が好き？

「決まってるじゃないですか。大好きですよ」

そっか、幸せだね。

「はいッ!」

「じゃあ私は帰ります。今日翔輝さんが瑠璃さんとお二人でお出かけになるんですが、相手は瑠璃さんですので、何かあるかわかりません。偵察兼妨害部隊として私も後をつけてなきゃいけないんです

「よ

そっか、そんな事瑠璃が言ってたな。

「な、何て言ってたんですか？」

デートだって。

「・・・やはり何か企んでますね」

かもね。

「で、では私は急ぎますので、さようならッ！」

おう、がんばれよ。

はあ、やっぱり大和はかわいいですね。

調子に乗って他の子の二倍くらい話しちゃいましたよ。

さて、大和はここまでとして、次はついにベスト3の発表です。

上位三人は一体誰になるんでしょうか？

・・・まあ、だいたい予想は付くと思いますが。

### 第3位

#### 第3位

彼の心を支え続けたもう一人の妹 空母『隼鷹』

第3位は隼鷹でした。

壮絶な太平洋戦争を生き抜き、南太平洋海戦では猛虎と化して敵空母に致命傷を与えた空母『隼鷹』は史実では敵潜魚雷を受けて機関を損傷し、修理中に終戦を迎え、まだ修理が完成していなかった。なので復員船にも使われずに解体された歴戦の空母です。

艦魂年代史シリーズでは敵潜魚雷は受けず、戦後は海軍省の後身である第二復員省に勤務する事になった翔輝が航海長として乗り込み、復員船として活躍しました。

そんな『隼鷹』も最後は解体されてしまっんですが、そんな経緯もありその艦魂である隼鷹は艦魂の中では最も付き合いの長い艦魂になりました。

実は当初隼鷹をメインキャラに入れる事は考えていませんでした。妹キャラは日向だけで十分と思っただんですが、日向は結構『大和』と一緒にいる事が少なく、むしろ『隼鷹』の方が多く、しかも他の空母に比べて低速なので出番少なかったのでキャラ化するにはもってこいだっただけの話の途中で生まれました。

そんな急遽作ったキャラだった隼鷹は皆様からの高い支持を受けて見事第3位になり、大和を越えてしまいました。

外伝一つを持つ隼鷹は最後は翔輝のもう一人の妹として消えました。

さあ、今日はそんな隼鷹に色々聞いていきます。どうぞッ！

「こんにちはあ」

こんにちは。久しぶりだね。

「うん、久しぶりい」

元気にしてた？

「うん。大和も伊勢も榛名も翔鶴も大鳳もみんな元気だよお」

そっか、翔輝は？

「もちろんお兄ちゃんも元気だよ。でもね、最近忙しいみたい」

「そうなんだ。まあ、あれで一応第四護衛隊群司令だからね。忙しいだろうよ。」

「なんか噂だとお兄ちゃん護衛艦の艦魂ととても仲がいいみたいではたかぜの事か？」

「うーん、お兄ちゃんは《メイ》って呼んでたけど」

「それがはたかぜさ。彼女の旧名はメイコムって言って、翔輝は彼女の事をメイって呼んでるから。」

「むう、なんか新たなライバルの出現の予感」

まあ、そうかもね。

「お兄ちゃんって基本的に艦魂に好かれる事が多いよね」

確かに、異常なほどね。

「それほどお兄ちゃんが素敵な人って訳ね」

「いや、たぶん艦魂は箱入り娘みたいなものだから基本的に男性に免疫がないんだ。そんな彼女達には翔輝の優しさが新鮮で、簡単に引き込まれてしまうんだろうな。だからたぶん翔輝は瑠璃以外の人間の女の子には普通より少しもてるくらいだよ。」

「へえ、そうなんだ」

「うん。性格は優しいけど、顔は上の下くらいだからね。普通に比べたら少しはマシってくらいかな。」

「でも、メガネは似合ってるよね」

「元々がアホっぽい顔してるから、メガネを掛けた方がしかりしているように見えるのさ。」

「むう、お兄ちゃんはアホじゃないよおッ！」

いや、アホだろ。

「お兄ちゃんをバカにするのは許さないんだからあッ！」

わかったッ！ わかったから刀を鞘に戻してえッ！

「今度お兄ちゃんをバカにしたら許さないからね」  
うん。わかった。僕も命は惜しいからね。

じゃあ早速質問だけど、隼鷹は空母の艦魂だけど、本当はもっと戦いたかった？

「うーん、どうだろ。南太平洋海戦で十分私は奮闘したと思うけど、確かにあの時の角田少将の攻撃はすさまじかったからね。」

「あの時はお姉ちゃんや瑞鳳の仇を討とう必死だったから、  
仇って・・・二人は死んでないぞ。」

「必死だったのおッ！」  
わかったわかった。

「私はあの戦いで十分戦ったよ」

まあ、君がいいならいいんだけどさ。でも搭載機数は『飛龍』や『蒼龍』とほぼ同じぐらいなのに、速力が遅いからって理由でほとんどの空母決戦に出られなかったよね。

「速度を優先したからこそ瑞鳳がお姉ちゃんや瑞鶴の腹心として機動部隊に配置されたんだもんね」

もう少し速く動ければ君は『飛鷹』と一緒に大活躍できただろうにね。

「真珠湾攻撃に珊瑚海海戦、ミッドウエー海戦って大活躍できたよ。ミッドウエー海戦なら赤城達が戦闘不能になっている時に飛龍と一緒ににお姉ちゃんと協力して敵空母全艦撃沈してあげたのに」

ははは、君が主力空母になれてたら日本はもう少しまともに戦えてたかもね。

「ガダルカナルは私が死守するッ！」

商戦改造空母じゃなかったら角田少将の指揮で連戦連勝できたのにね。

「角田司令と私は最強のコンビなんだからあッ！」

山口多聞中将の隷下だったら本当に最強だったかもね。

次の質問だけど隼鷹は豪華客船「かしはじまる檀原丸」から改造された空母だけど、本当は空母じゃなくてそのまま客船になりたかった？

「そりゃあ、人を殺す軍艦じゃなくて人を幸せにする客船の方が良かったよお」

そっか、君は戦う事が嫌いだもんね。

「好きな子なんてほとんどいないよ。みんなただ祖国を守りたいが為に必死になって戦ったんだから」

そうだよねえ。でももし君が客船だったら翔輝とは会えなかったよね？

「う、そ、それは嫌だよお」

それにもしも客船だったら君の名前は《隼鷹》じゃなくて《檀原丸》になってたんだよ？

「うう、檀原ならともかく《丸》を付けるのは嫌だよお」

まあ、それはそれで君は幸せだったかもね。

「うーん、そう考えると、私は空母になって幸せだったのかも」  
そういう考えは人それぞれさ。

「じゃあ、私は帰るね」

え？ もう？

「うん。何か大和が緊急召集をかけてたから」

ああ、それはきつと翔輝と瑠璃のデートを妨害しようとしてるんだ。

「ええッ！？ お兄ちゃんと瑠璃があッ！？ ほ、本当にいッ！？」

う、うん。

「じゃあ早く帰らないとおッ！ じゃ、じゃあねッ！」  
がんばってね。

いやあ、これは修羅場になる可能性が大ですねえ。  
まさかの隼鷹第3位という大健闘にビックリです。  
残るは優勝と準優勝ですが、もう残るはあの二人しかいませんね。  
では、残る優勝と準優勝をどうぞッ！

## 第2位

### 第2位

頼もしき日本海軍最凶の戦姫 戦艦『金剛』

「2位だと？ 意外にも私は人気があるのだな」

あの、金剛？ 台本読んだ？ 君の出番はもう少し後で

「何？ 貴様は連合艦隊最古参であるこの私を待たせるというのか？」

あ、いや、その・・・

「身の程をわきまえろ。愚か者」

すみません。ほんと、すみません。

「貴様など所詮私の足元にも及ばぬ雑魚のくせに」

あの、僕一応作者・・・

「何？」

すみません。マジですみません。

「さつさと始める。私は貴様と違って暇ではないんだ」

はい・・・えっと、まずは金剛の説明からですね。

金剛型戦艦一番艦・戦艦『金剛』は日本海軍現役戦艦最古参の艦魂です。日露戦争で活躍した戦艦は太平洋戦争では工作艦などで活躍しましたが、それを抜けば軍艦の中では最古参です。

太平洋戦争開戦時にはもう艦齢が二八歳という老兵で、本来ならば退役しているはずの『金剛』でしたが、金剛型戦艦は日本海軍唯一の三〇ノット越えの戦艦だった為、速度が重要視されている機動部隊護衛として姉妹艦『比叡』『榛名』『霧島』の計四隻で他の戦艦が安全地帯で待機している代わりに太平洋の海を縦横無尽に翔け回りました。

その一番艦『金剛』はマレー沖海戦で艦隊決戦のチャンス逃したものの、その後は機動部隊護衛として南方資源地帯を翔け回り、

ミッドウェー海戦では主力部隊として参加。その後ガダルカナル島ヘンダーソン飛行場砲撃を見事成功させ、その後はマリアナ沖海戦、レイテ沖海戦と日本の命運を左右する大海戦に次々に参加。レイテ沖海戦では戦艦として唯一敵空母を撃沈させるといふ偉業を成し遂げました。しかしその後日本へ戻る際に日本戦艦唯一敵潜魚雷を受けて沈没してしまいました。

日本海軍戦艦の武運艦として『榛名』と共に評価され、『金剛』に関しては連合軍側から最高殊勲艦と評価されています。

「私よりも榛名の方がすばらしいと思うがな」

まあ、連合軍側からの評価は『金剛』がイギリス出身の艦だからっていうのも少なからず関係していると思うけどね。

「ふん。私は身も心も日本人であり、大日本帝国海軍人だ。連合国側からそのような評価を受けても嬉しくもなんともない」

金剛らしいね。戦艦の最高殊勲艦が『金剛』、『榛名』なら、空母は『翔鶴』『瑞鶴』。巡洋艦はよくわからないけど、駆逐艦なら『雪風』だよな。

「確かに、翔鶴も瑞鶴も雪風もよく戦った。彼女達こそ真の武人だ」  
大和と武蔵は？

「あれは日本海軍の飾りだ。有名無実でしかない。あんなに役立たずなら航空機や駆逐艦、潜水艦を大量生産した方が良かった」

ひどい言いようだな。でも、駆逐艦や潜水艦ならともかく、君が航空機を作れなんて言うなんて意外だな。

「私は堅物ではない。利用できるなら例え航空機でも何でも使うさ」  
・・・君は究極の堅物でしょ？

「生前はプライドを捨て切れなかった。大艦巨砲主義を信じ、海上決戦での戦艦無敵を信じて疑わなかった。その結果がどうだ？ 日本は鬼畜米英の航空機の攻撃で多くの艦艇や基地を失い、本土は焼け、人々は散り、敗戦した。あの時、私は航空機を優先する山本元帥をバカにしていた。今考えれば、彼の先を見る力はすばらしかった。彼の言うとおり、日本は半年から一年しかまともに戦えなかつ

た。航空機を信じ、空母と艦載機の増産、基地航空機の充実な配備  
熟練パイロットの育成。さらには電探技術の充実と情報戦を重視し  
た部隊の編成などをしていけば、こんな結果にはならなかったかも  
しれない」

金剛・・・

「全て、私の責任だ」

そんな事ないよ。あの戦争の敗北は仕方がなかったんだから。

「《仕方がなかった》という言葉で片付けてほしくはない。その《仕方がなかった》という言葉の中には日本人230万人の命が失われたという現実がある。他にも、何百人の艦魂の命も・・・。その尊い命を、《仕方がなかった》なんて生半可な言葉で片付けてほしくは、ないんだ」

金剛・・・

「私は今は幸せにやっている。だが、私のように幸せになれなかった者は大勢いるんだ。そんな者達の事を、私は今でも想う。私はあの戦争を・・・後悔している」

みんなそうさ。あの戦争に辛い後悔をしている。君だけじゃないさ。

「そうだな・・・」

・・・

「・・・」

・・・

「・・・」

・・・

「・・・先に進まないか？」

あ、うん。じゃあもう恒例の質問をするね。

じゃあ早速、金剛はイギリス出身だけど生まれ故郷であるイギリスと戦う事に迷いはない？

「愚問だな。私の祖国は日本だけだ。例え生まれ故郷であるイギリスでも日本の敵になるな。徹底的に叩き潰すだけだ」

「実に金剛らしいけど、本当に迷いはない？」

「・・・まあ、完全にはないかと問われれば、うそになる」

「やっぱり・・・」

「だが、先にも言ったとおり、私は日本を愛している。だから日本を守る為ならイギリスと戦う事に迷いはない。ただ、他の国よりは戦っている時に胸に小さな針で刺されたような痛みがある。それだけだ」

「金剛にとっては、それで十分だと思うよ。」

「だから、せめてマレー沖海戦では私自ら英戦艦『プリンス・オブ・ウェールズ』と一矢を報いて、決心を固めたかった」

「そっか・・・」

「鬼畜米英・・・そんな事を言っていた日々が懐かしい」

「そうだね・・・」

「質問はそれだけか？」

「あ、じゃあ次いくね。」

「金剛が苦手なものって何？」

「私の苦手なもの？」

「うん。金剛って完璧超人みたいな感じだけど、やっぱり苦手なものはあるのかなって思ってる。」

「私に苦手なものがあると思ってるのか？」

「やっぱりね。金剛は完璧超人」

「私だって普通の艦魂だ。苦手なもの一つや二つくらいあるさ」

「・・・」

「・・・」

「・・・え？ あ、あるの？」

「なぜ驚く？ 当然であろうっ？」

ま、まあそうだけど・・・何なの？

「辛いものが苦手だ」

え？ 辛いものっていうと・・・唐辛子？

「うむ。他にもわさび、からし、タバスコなど辛いもの全般が苦手だ」

へえ、意外だね。

「辛いものだけはどうもな。甘いものは好物なのだが」

やっぱりイギリス出身だからイギリス風の舌をしてるんだよ。

「そ、そうなのか？」

イギリス人って言ったたら辛いものとは縁遠そうな感じじゃん。

「確かに」

まあ、金剛の意外な弱点が聞けて良かったよ。

「うむ。それと言っておいてなんだが、この事は他言無用にしてもらいたいのだが・・・」

うん、いいよ。金剛のイメージが崩れちゃうもんね。

「かたじけない」

じゃあ最後に、金剛は滝川の事、好きなの？

「・・・」

・・・

「・・・」

・・・

「・・・（コクリ）」

そっかぁ・・・

「な、なぜそんなに優しい笑みを浮かべているのだ？」

いや、微笑ましいなあって。

「そ、そうか？」

うん。金剛も女の子なんだなあって思ってたさ。

「私だって女だ。女の幸せには喜ぶさ」

だよ。でも相手は滝川だよ？ 大丈夫？

「それは仕方あるまい 好きになってしまったのだからな」

金剛・・・変わったね。

「滝川のせいだが・・・変か？」

ううん。勇ましい金剛もいつけど、女らしい金剛も素敵だよ。

「ふん。貴様にほめられても嬉しくない」

素直じゃないんだから。

「何か言ったか？」

ううん。何も。

「そうか」

金剛。

「うん？」

末永くお幸せに。

「ふっ、ありがとう」

「では、私は帰るぞ。夕食の支度があるからな」

そっか、じゃあ早く帰った方がいいね。

「うむ。今度家に来い。私の手料理をご馳走してやるぞ」

ははは、ありがとう。

「じゃあな」

いやあ、人は変わろうと思えば変わるんですね。

あんなに女らしい金剛、こつちがグツと来ちゃいますよ。

さあて、いよいよ次は第1位です。

・ここまでで出ていないキャラで優勝しそうなキャラといたら・・・  
あの子しかいませんね。

## 第1位

### 第1位

自分絶対主義を掲げた無表情一貫の心優しき秀才軍人 戦艦  
『武蔵』

栄えある第1位はなんと大和型戦艦二番艦・戦艦『武蔵』の艦魂  
でした。

「・・・優勝万歳」

・・・もうツツコミは入れないからね。

「・・・姉越え万歳」

いやあ、まさか第1位がメインヒロインである大和の妹である君  
だなんて、世の中わからないね。

「・・・真のヒロインは私」

うーん、それはどうだろ？

「・・・全女性キャラクターの美人」

いや、それはない。

「・・・頭脳明晰で端正な顔立ち。才色兼備とは私の事」

あの、聞いている？ 僕の話聞いている？

「・・・この私が本気を出せば翔輝もメロメロ」

だからないってば。そろそろ人の話を聞いて。

「・・・翔輝は私のもの。他の誰にも渡さない。特に愚姉には絶対  
に渡さない」

だから人の話を聞けってッ！ もう遅いのッ！ 翔輝と大和は運  
命の赤い糸で結ばれてるんだから今さら

ガアアアアアアアアアアッ！

な、何すんだよッ！

「・・・発砲」

そんなのわかってるよッ！ 何でいきなり僕に発砲したのさッ！？

「・・・貴様がうるさいから」

うるさいのはお前でしょッ！？ 少しは人の話を聞いてよッ！

「・・・撃つぞ」

何だよッ！？ 理不尽にもほどがあるでしょッ！？

「・・・私の邪魔をするのは誰であろうと許さない」

まず君が僕の邪魔をしてるよねッ！？

「・・・うるさい。一般愚民の分際で世界最大最強戦艦の艦魂に話しかける事自体失礼極まりない」

僕はこの作品の作者だよッ！？ 普通の人じゃないし一般愚民って何だよッ！？

「・・・黙れ。貴様はただの雑魚だ。翔輝の爪の垢を煎じて飲めば少しはマシになる」

ひどいよッ！ 僕は作者なんだよッ！？ そこまで言うか普通ッ！

「・・・所詮作者など作中のキャラクターに操られる無様なマリオネット。貴様は私達の言う事さえ聞いていればいい」

最低だなお前ッ！ 大和の苦勞がわかるよッ！

「・・・愚姉など苦勞に苦勞を重ねて過勞死すればいいのだ」

ひどいなッ！

「・・・それよりさっさと話を進めろ。時間がもつたいない」

それが今の今まで時間を無駄に使っていた奴が言うセリフか？

「・・・うるさい。さっさとしろ」

はいはいわかりました。

じゃあ、武蔵は姉である大和をどう思う？

「・・・使えない下僕」

・・・それだけ？

「・・・それ以上でもそれ以下でもない」

ひどくない？ 確かに頼りないところもあるけど、一応君の姉だよ？

「・・・もう少し利用価値があるかと思ったけど、所詮は下等生物」  
ひどすぎる。」

えっと、さつき金剛にも聞いたけど、武蔵の苦手なものって何？

「・・・ない」

え？ ないって・・・一つも？

「・・・ない。私は完璧超人。貴様達のような愚かな人間とは格が違う」

えっと・・・本当に？

「・・・くどい雑魚」

ひどい・・・

えっと・・・その、好きな食べ物は何？

「・・・海軍カレー」

へえ、あれって艦によって味付けが違うんでしょ？

「・・・そう。海軍カレーは旧日本海軍で洋上で一週間の感覚がなくなっている水兵達に今日が何曜日か思い出させる為に一週間に一度金曜日に食べるという伝統で、海上自衛隊はその伝統を受け継いでいる。今でも新鋭護衛艦から補給艦にいたるまで多種多様な味付けが存在する」

海軍カレーは日本海軍の良き伝統だよな。

「・・・海軍から有名になった食べ物が多い。ビーフシチューが食べられなかった東郷平八郎元帥がコックに注文したらビーフシチューを知らなかったコックが和風仕立てで作って偶然生まれた肉じゃが。日本のカレーの基礎となった海軍カレー。軽巡洋艦『龍田』のコックが唐揚げを作ろうとしたら小麦粉がなく、代用として片栗粉を使

って揚げた事で生まれた竜田揚げ。これらが有名な話」

日本海軍の伝統や知恵は今でも日本人の中に生き続けてるんだね。

「・・・そういう事」

じゃあ最後に、武蔵は翔輝の事をどう思ってる？

「・・・素敵な人。私は一生あの方に身も心も尽くす」

そっか。でも大和がいるよ？ それに瑠璃や伊勢達も。

「・・・関係ない。みんな蹴散らせばいい」

君って本当に手段を選ばないんだね。

「・・・恋に仁義なんてものは存在しない。勝てばいいの」  
怖すぎるよ。

「・・・翔輝は私の太陽。私だけの太陽。彼なしでは、私は生きていけない」

気持ちはわかるけどね。

「・・・大変」

どうしたの？

「・・・翔輝の事考えてたら、翔輝に会いたくなっただけは？

「・・・私帰る。翔輝に会う」

ちょ、ちよつと待って。まだ途中

「・・・さらば」

本当に行っちゃったよ。

でも、確か翔輝は瑠璃とデートで、大和達がその妨害に

「・・・それ、本当？」

うわッ！？ ビックリしたッ！

「・・・質問に答えて。それは本当？」

ほ、本当だよ。

「・・・そう」

・・・武蔵？ 何で機関銃を構えてるの？

「・・・絶好のチャンス」

何が？

「・・・翔輝以外の邪魔な奴らを皆殺しにできる」

あ、あの、武蔵？

「・・・いざ出陣」

ちよつと待つて武蔵 って、行っちゃった。

翔輝達、大丈夫かな？

## 結果発表 エピローグ

いやあ、人気投票の結果はどうでしたでしょうか？  
意外なキャラから妥当なキャラまで多種多様なキャラクターがランクインしました。  
ですが、まさかの大和4位。隼鷹大健闘の3位、武蔵の1位、エンタープライズのベスト10入りなど予想外の結果に僕自身驚いています。

ちなみに10位以下はどうだったかということ、こんな感じですよ。

- 11位 雪風
- 12位 山城
- 13位 翔輝
- 14位 瑞鶴
- 15位 はたかぜ
- 16位 伊吹
- 17位 島風
- 18位 イツヤ（伊・五八）
- 19位 イロハ（伊・一六八）
- 20位 飛龍

上記のように10位以下も結構強力なキャラがそろっています。

読者の皆様には感謝しています。

読んでいただき、感想をいただき、投票をしていただき、本当に感謝しております。

艦魂年代史シリーズはこれからも皆様に愛され続ける事を作者である僕は願っています。

これからの予定ですが、明日まず『艦魂年代史2 恋する戦姫は艦隊決戦主義』の第二章を更新したいと思います。

あまり書けなくて短編一個分ぐらいの量ですが、どうかお暇があったら読んでください。

あと『新戦記 サンダーstorm』の更新も明日か明後日したいと思います。しかし明々後日からは僕は修学旅行に行ってしまうので評価や感想の返事ができなくなってしまう。その辺はすみません。

最後に、これからも皆様に楽しんでいただけるような作品をこれからも書き続けていきますので、どうかよろしく願います。

# 広告募集中

小説関連広告に最適です。

出版社や印刷会社はもちろん、  
個人の広告でもOK

縦：140mm 横：110mm

詳しくはPDF小説ネット広告募集をご覧ください。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネットは2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5704d/>

---

艦魂年代史シリーズ キャラクター人気投票結果

2008年11月7日08時22分発行